

「オペラ座の怪人」
上演40周年

稀代の作曲家

アンドリュー・ロイド・ウェバー

Andrew Lloyd Webber



© premier.gov.ru

■「キャッツ」「エビータ」「オペラ座の怪人」など、誰もが知る世界的な大ヒット作を生み出した作曲家、アンドリュー・ロイド・ウェバー氏（77）。ロンドンのウェストエンドでロングランされ続けているミュージカル「オペラ座の怪人」は、今年初演から40周年を迎える。今号では、この英国が誇る「ミュージカル界の巨匠」の素顔に迫ってみたい。



1 音楽の才能は血筋！ 「現代版モーツァルト」

1948年3月22日にロンドンで生まれたロイド・ウェバー氏。作曲家でオルガニストの父親はロイナル・カレッジ・オブ・ミュージック（王立音楽大学）の学長を務め、母親はバイオリニスト兼ピアニスト、祖父も1937年に行われたジョージ6世の戴冠式で聖歌隊の1人として歌うなど、紛うことなき音楽一家で育った。3歳でバイオリンとピアノを習い、6歳でフレンチホルンを演奏するとともに作曲にも着手、9歳で6つの組曲をつくりあげている。まさに現代のモーツァルトである。

そこに演劇の要素が加わったのは、舞台女優だったおばの存在が大きい。おばに連れられて数々の舞台を鑑賞し、一緒に人形劇団をつくって公演を開いたりしていたという。やがて音楽と演劇の両方が融合したミュージカルに魅了されたロイド・ウェバー氏は、13歳で初めてミュージカル曲を作曲。オックスフォード大に入学するも、音楽の世界に腰を据えるために1年経たずに退学して、ロイナル・カレッジ・オブ・ミュージックに進学した。

あとはもうトントン拍子で、成功の階段を駆け上がっていくだけであった。23歳で発表した「ジーザス・クライスト・スーパースター」が大ヒット。「ロンドン・ミュージカル」の夜明けを告げた」と言われる同作は、当時の最長記録を破る8年のロングランとなった。そして30歳で「エビータ」、33歳で「キャッツ」と驚異的な快進撃が続いていた。

2 これまで作曲した ミュージカル作品数は…

ロイド・ウェバー氏がこれまで手掛けたミュージカルは21作品。なかでも一番の代表作が、38歳のときに生み出した「オペラ座の怪人」だ。1986年10月9日にヒズ・マジエスティー

アンドリュー・ロイド・ウェバーの 主要ミュージカル10作

() 内の数字は初演年

- **ジーザス・クライスト・スーパースター**
(Jesus Christ Superstar : 1971 年)
- **エビータ** (Evita : 1978 年)
- **キャッツ** (Cats : 1981 年) =写真下
- **スターライト・エクスプレス**
(Starlight Express : 1984 年)
- **オペラ座の怪人**
(The Phantom of the Opera : 1986 年)
- **サンセット大通り**
(Sunset Boulevard : 1993 年)
- **ラブ・ネバー・ダイ** (Love Never Dies : 2010 年)
※オペラ座の怪人の10年後を描いた続編
- **オズの魔法使い** (The Wizard of Oz : 2011 年)
- **スクール・オブ・ロック** (School of Rock : 2015 年)
- **シンデレラ**
(Cinderella : 2021 年)



3 世界の各賞を総なめ！ 戴冠式の式典曲も

ズ劇場（当時はハー・マジエスティー
ズ劇場）で開幕して以降、今年40周年を
劇場で公演が行われ、今年40周年を
迎える。ちなみに、ウェストエンドで
最長のロングラン公演はミュージカル
「レ・ミゼラブル」（今年41周年）、総
興行収入が最も高いのはミュージカル
「ライオン・キング」。「オペラ座の怪
人」はどちらも2位であるものの、両
方でランクインしているのは凄いの
言しかない。



40年にわたって「オペラ座の怪人」が上演されている、ヒズ・
マジェスティーズ劇場。

4 作曲に楽器は使わず 「すべて頭の中で」

ロイド・ウェバー氏は作曲する際、
楽器を一切使わずにすべて頭の中で作
業するという。「次の日まで覚えてい
ないような曲は人の心を打たない」とい
うのが持論で、「ミュージカルの成功
の鍵は劇の構成が第一で、メロディー
はその次。人々の記憶に残る、感情を

とにかく華々しい受賞歴を誇るロイ
ド・ウェバー氏。米トニー賞7回、英
ローレンス・オリヴィエ賞7回、米グ
ラミー賞3回のほか、ゴールデン・
グローブ賞、アカデミー賞、エミー
賞、ブリット・アワード、そしてアイ
ヴァー・ノヴェロ賞に至っては14回も
受賞している。その数45以上で、現在
も更新中である。

こうした類まれなる音楽界への貢
献により、1992年にナイトの称
号「Sir」が授与されたのに続き、97年
には貴族位も授けられてロイド・ウェ
バー男爵 (Baron Lloyd-Webber) と
なった。2023年のチャールズ国王
の戴冠式では、国王からの依頼で制作
された賛美歌「Make a Joyful Noise」
が披露され、翌24年にはイングリッド
の最高勲章である「ガーター勲章」の
騎士団員にも任命されている。もはや
栄光しか見えない人生である。

とにかく華々しい受賞歴を誇るロイ
ド・ウェバー氏。米トニー賞7回、英
ローレンス・オリヴィエ賞7回、米グ
ラミー賞3回のほか、ゴールデン・
グローブ賞、アカデミー賞、エミー
賞、ブリット・アワード、そしてアイ
ヴァー・ノヴェロ賞に至っては14回も
受賞している。その数45以上で、現在
も更新中である。

5 ヒットの秘訣は 「超優秀なビジネスマン」

ロイド・ウェバー氏の特異性は、ク
リエイティブな面とビジネス的な面の
両方をバランスよくあわせ持っている
点だろう。作曲家と演劇に携わるビジ
ネスマンとしての2視点を持ち、観客
が何を好み、何を求めているのかを世
界を視野に入れた上で理解し、それを
自分の手で提供できるのだ。

ロイド・ウェバー氏の元で働くス
タッフは、「彼が新作ミュージカルのプ
レスリリースを却下し、必要なはずの
情報を全部削除して、まったく違う視
点で書き直すように要求することはよ
くある」と話している。実際にそれで
何度も成功を収めているといい、観客
を理解し、物語を熟知しているだけで
なく、どうすればチケットを買っても
らえるかも知っているのだとか。

6 結婚は3回！ 「キャッツで運命の出会い」

さて、そんな奇才ロイド・ウェバー
氏のブライベートはというと、実は3
回も結婚している。

最初の婚姻は「ジーザス・クライス
ト・スーパースター」を発表した19
71年、23歳のとき。2人の子どもに
恵まれるも、「キャッツ」に出演して
いた12歳下の新進女優サラ・ブライ
トマン(65)に心を移して離婚。翌年
にサラと再婚し、彼女の魅力を最大限
に引き出すために制作したのが「オペ
ラ座の怪人」である。つまり歌姫クリ
スティーヌは2番目の妻がモデルで、彼
女の音域にあわせて曲もつくられた。



2番目の妻サラ・ブライトマンと
ロイド・ウェバー氏(1985年)。

7 癒しは「犬」 酷評で猫がトラウマに

しかし、ビジネス・パートナーとして
は最高だったものの、夫婦としては上
手くいかなかったのか、6年で結婚生
活に終止符を打っている。

3度目の婚姻は1991年で、馬好
きだったことが縁となつて元馬術選手
の女性と結婚。この婚姻は今も続い
ており、子どもも3人誕生している。

「キャッツ」からもわかるように、ロ
イド・ウェバー氏は大の猫好き。と
ころが、この「キャッツ」の映画化
(2019年)で大問題が発生。映画
「レ・ミゼラブル」(2012年)を手
がけたトム・フーパー監督に一任した
結果、完成した作品を観て、寝込むほ
どにショックを受けた。「監督はオリジ
ナルの舞台に関わった人を採用するの
を嫌がったから、なぜその音楽がそこ
で流れるのかということがまったく理
解されていなかった」という。しかも、
「CG処理された俳優たちの猫のビジュ
アルが怖いし、不自然」と酷評され、
テイラー・スウィフト、ジュディ・デ
ンチ、イアン・マッケランといった有
名歌手や俳優が出演したにもかかわらず
興行成績は振るわず、最低映画を決
める「ラジー賞」でも過去最多の6部
門を受賞してしまったのだ。

すっかり猫がトラウマになつてし
まったロイド・ウェバー氏は、傷つい
た心を癒すために、生まれて初めて犬
を飼い始めた。新型コロナウイルスが蔓延する
中で仕事でニューヨークに行くときに



シアター・ロイヤル・ドゥルリー・レーンに展示された絵画コレクション。

ロイド・ウェバー氏は、「オペラ座の怪人」が上演中のヒズ・マジェステイズ劇場以外にも、ロンドン・パラディウム、シアター・ロイヤル・ドゥルリー・レーン、ケンブリッジ劇場、アデルフィ劇場、ニュー・ロンドン劇場と、ウエストエンドに6つの劇場を所有している。初演となる新作は、自身の劇場で上演されることが多い。

2019年から1年半かけて行われた、ロンドン最古の劇場シアター・ロイヤル・ドゥルリー・レーンの修復工事にはとくに力を入れ、6000万ポンドもの巨額を投資。歴史的な美しさとモダンな劇場機能を両立させるべく、内装のデザインや配色にもこだわった。また、ヴィクトリア朝絵画のコレクションとしても知られるだけに、所有するラファエル前派の名作があちこちに展示されていることも他所にはない点だ。

今秋に新作ミュージカルの発表を予定しているロイド・ウェバー氏。まもなく78歳を迎えるが、意欲的に作品を生み出し続ける彼からまだまだ目が離せない。

8 ロンドンに6つの劇場を所有！

も、航空会社に「精神的にダメージを負っているから『セラピー・ドッグ』を連れて行く必要がある」と帯同許可を申請。本当に必要な証明する診断書の提出を求められたため、「ハリウッドが私の『キッツ』に何をしたか見てください」と返したところ、「医師の診断書は必要ありません」と承認が下りたのだとか。なんとも大御所らしいエピソードだ。

ロンドンで
2026年に鑑賞できる

アンドリュー・ロイド・ウェバー作品はコレ！

The Phantom of the Opera
His Majesty's Theatre ロングラン上演中
<https://uk.thephantomoftheopera.com>



Starlight Express
Troubadour Wembley Park Theatre
5月3日まで



www.starlightexpresslondon.com



Jesus Christ Superstar
The London Palladium
6月20日～9月5日



<https://london.jesuschristsuperstar.com>



CATS
Regent's Park Open Air Theatre
7月25日～9月12日

<https://openairtheatre.com/production/cats>



10月9日で上演40周年

特別記念公演はあるの？

初演から25周年を迎えた2011年には、ロイヤル・アルバート・ホールで2日間の特別記念公演を開催。世界中の映画館で生中継され、大きな話題を集めた。この公演の様子は、DVDにも収録されている（写真）。

その後の30周年と35周年は、ヒズ・マジェステイズ劇場で特別ガラ公演を行ったが、40周年記念公演についてはまだ詳細が発表されておらず、同劇場のチケットも10月3日分までしか発売されていない。今月10日に来春までのチケットがリリースされるので、気になる人は要チェックだ。

今年6月以降、スペシャルイベントの情報が解禁されるとの噂も流れているが、果たして…？

